

グラウンド・ゴルフで友好、健康、平和の輪を世界へ広げよう！！



国際グラウンド・ゴルフ連盟

グラウンド・ゴルフの大会運営モデル — 大会開催のポイント —

国際グラウンド・ゴルフ連盟（以下「IGGF」という）及びその加盟団体が開催する大会は、国際グラウンド・ゴルフ連盟ルール（以下「IGGFルール」という）及び下記の諸点に留意して、適正で公平・公正かつ安全な大会運営に努めるものとする。

第1 大会開催要項について

次の項目を内容とする大会開催要項を作成のうえ大会を運営すること。

1 趣旨・目的

参加者や関係者が理解できる内容で簡潔明快地に記載する。

2 主催、主管など

主催（大会を中心となって開催する組織）、主管（大会を実際に運営する組織）、後援（大会を支援してくれる公的機関や団体など）、協賛（趣旨に賛同し運営費の支援などをしてもらえる機関や団体）を明記する。

3 期日・日程

- ・参加者が参加しやすい期日及び時間を設定する。
- ・日程は、受付、開会式、プレー開始及び終了予定、閉会式の時間などを記載する。

4 場所

- ・大会規模（参加者数とコース数）に適した会場を選定する。
- ・交通手段や荒天時対策にも配慮した会場を選定する。

5 参加資格

参加できるプレーヤーの資格を明記する。（会員限定かどうかなど）

6 参加人員

募集定員を明記し、定員を超えないよう留意して募集する。

7 参加費

- ・一人当たりの参加費及び納入方法を記載する。
- ・昼食（弁当）代などを含む場合はその旨も明記する。

8 プレー規則

IGGFルールを適用する旨を明記する。

9 プレー方法

- ・プレーするコースやラウンド等について記載する。
- ・個人ゲーム、団体ゲームの方法を記載する。

10 表彰

何位まで表彰し、ホールインワン賞を与えるかなどについて明記する。

11 参加申込

「申込方法（郵送、メール、FAX等）」、「申込先（担当者、住所、電話、FAX）」、「申込期限」などの必要事項を記載する。

12 その他

安全管理の面から、傷害保険へ加入するよう奨励したり、荒天時対策や熱中症への対策などを記載する。

第2 大会で使用する用具について

I G G F及び加盟団体が主催、共催、後援する大会では、I G G Fルール第5条に基づき、I G G F用具標準規則及び同細則等に適合するホールポスト、スタートマット、クラブ、ボールを使用すること。

第3 順位の決め方について

1 個人ゲームの順位

個人ゲームの順位はゲーム終了後、合計打数の少ないプレーヤーを上位とする。同じ場合は、最少打数の多いプレーヤーを上位とする。これも同じ場合は、次の最少打数が多いプレーヤーを上位とする。以下同じ方法による。それでも全く同じ場合は、主催者が事前に決めておいた方法による。

2 団体ゲームの順位

団体ゲームの順位はゲーム終了後、チーム全員の合計打数の少ないチームを上位とする。同じ場合は、チームの最少合計打数プレーヤーを比較し、少ないプレーヤーがいるチームを上位とする。これも同じ場合は、次の最少打数プレーヤーを比較する。以下同じ方法による。全員が全く同じ場合は、主催者が事前に決めておいた方法による。

第4 コースについて

大会に使用するコースは、I G G Fルール第16条に示された標準コースとする。

第5 プレー運営に関する説明事項

大会を適正、公平、公正、安全に運営するため、参加者にプレー運営上の説明をしなければならないが、次の2つの方法でプレー運営責任者が行うこと。

I 開会式での説明

I G G Fルールに基づいて行うことと、詳細な説明はプレーヤー召集所で行うこと、召集所と召集時刻はプログラムで確認すること、その他の重要事項を簡潔に説明すること。

II プレーヤー召集所での説明

円滑な大会運営を行うため、次の内容がプレーヤーに徹底するよう説明すること。

1 コースに関する事項

- (1) コースとして使用する場所、設置するコースの数、旗の色
- (2) プレーするグループ数と各グループが使用するコース

2 ルールに関する事項

- (1) I G G Fルールを適用することを徹底して説明する。
- (2) プレーは1コース（8ホール）を単位として行う。
- (3) 打順は、スコアカードの氏名記載順とし、各ホールの第1打者はローテーション方式とする。
- (4) プレーは、放送や笛等の合図で全コース一斉にスタートする。
- (5) アウトボールとなるエリアを決める必要があるコースがある場合、その旨を明記する。
- (6) 連打方式は禁止する。
- (7) マークはプレーヤー本人が行う。
- (8) 大会会場での練習の可否は、主催者の決定に従う。

3 記録に関する事項

次の内容を説明する。

(1) スコアカードの記入

- ①スコアカードは、団体用を使用し、プレーヤーが相互に記入する。
- ② スコアの記入は、I G G Fルールに示しているスコアカードの記入例による。

- ③終了時には、実打数、1打回数、合計打数を確認し、各自が確認サインを行う。
- (2) スコアカードの提出
 - ①各ラウンドのゲーム終了後は、スコアカード提出所へ全員が揃って提出する。
 - ②提出後に計算ミスが判明した場合は、主催者の判断で訂正することがある。
- 4 ホールインワン賞に関する事項
 - (1) ホールインワン賞の対象ホールは、全ホールなのか特定ホールなのか説明する。
 - (2) ホールインワン賞を受領する場所を知らせておく。
- 5 プレー進行に関する事項

天候や大会の進行状況等によっては会場や招集時間の変更があり得るので、プレーヤーは案内放送等に注意するよう指示しておく。
- 6 荒天対策に関する事項

荒天となった場合、主催者の判断でプログラムの変更を行う場合があることを知らせておく。
- 7 危機管理

健康管理に十分留意するよう注意する。もし、体調不良となった場合は、仲間やグループへの迷惑を考えるより、自己の身体を大切にプレーを中止する旨を申し出るよう伝えておく。

第6 その他

上述した項目以外で参加者へ徹底しておくべきことは、開催要項の附属資料などの形で周知しておく必要があります。例をあげれば次のような内容です。

- 1 プレーヤーの変更や届出方法は、主催者で事前に決め周知徹底を図ること。団体ゲームに出場するプレーヤーが交代する場合は、プレーコースも関連してくるので留意点を記載しておく。
- 2 大会は、参加者と運営者がお互いに力を合わせて作り上げるものであるもので、大会の円滑な運営への協力を依頼する。また、閉会式までが大会であり出席するのがマナーであることについても触れる。
- 3 その他、主催者の運営要領を遵守することを記載する。
- 4 個人情報や肖像権の取扱いについては、各国の実情を勘案し、事前に文書で同意を得るなど適切に対応する。

<プレーを楽しむグラウンド・ゴルフ愛好者>



グラウンド・ゴルフ大会の適正な運営のための指針

— みんなで楽しくプレー —

国際グラウンド・ゴルフ連盟（以下「IGGF」）に加盟した国・地域は、世界中の人々の友好、健康、平和の輪を広げる生涯スポーツとしてのグラウンド・ゴルフが国際的に正しく普及していくため、IGGF規程集に収録されている「グラウンド・ゴルフ大会の運営モデル —大会開催のポイント—」に基づき、適正・公正・公平・安全な大会運営に努めるとともに「本指針」に十分留意してください。

1. 国際大会及びIGGFに加盟した国・地域が主催、共催する大会では、IGGFルールを遵守する。
2. IGGF及びIGGFに加盟した国・地域が主催、共催する大会では、IGGF用具標準規則及び同細則に適合するホールポスト、スタートマット、クラブ、ボールを使用する。
3. 荒天時対策やスポーツ事故対応など、危機管理に十分配慮する。
4. その他
 - (1) 開会式、閉会式の時間は、参加者の健康等に留意してできるだけ短くする。
 - (2) グラウンド・ゴルフはセルフジャッジが基本であり、審判団は置かない。
 - (3) ホールインワンは、IGGFルールの規定どおり「マイナス3」とする。
 - (4) プレー中に連打は行わせない。（ホールポスト近辺での「お先に」は例外）
 - (5) プレーの妨げになるボールは、そのボールの持ち主自身にマークさせる。
 - (6) プレーヤー以外の者が、コース内に入ったり横切ったりしないようにする。
 - (7) プレーが始まったら、打順が来るまでの間の打球練習はさせない。
 - (8) 入賞者に現金（賞金）は授与しない。高額とにならない商品の授与に留める。
 - (9) ホールポストは、斜面やスタートマットから見えない場所などのホールインワンをすることが難しい場所には設置しない。
 - (10) グラウンド・ゴルフのルールはエチケットから始まることを踏まえ、上記以外にもプレーヤーがグッドマナーとフェアプレーを遵守した態度で大会に臨むよう指導する。